

復興まちづくりのコーディネート

株式会社建設技術研究所 伊藤 義之

2020/07/11

東日本大震災発生後の略歴

2006～2008年度	青葉通り改修設計
2009～2010年度	都市計画マスタープラン見直し
2011.03.11	東日本大震災発生
2011.03.16	釜石市長より支援要請受領
2011.03.24～	釜石市復興関連業務に従事
2016.04.01～	浜通り地方復興関連業務に従事
2020.04.01	仙台へ異動、現在に至る。

本日のお題：コーディネーターって？

ホームドクター：多様なデータの活用等により、都市の現状や将来の都市構造を分析し、客観的、専門的立場からまちの課題や対応方針を示す役割。

コーディネーター：客観的な視点と専門的な知見を活かして地域の合意形成に取り組むとともに、都市・地域全体の機能を俯瞰して、民間施設の誘導や都市計画と他分野（公共施設管理、健康・福祉、商業、環境・エネルギー、コミュニティ・農業等）との連携を戦略的に進める役割。

政策アドバイザー：都市・地域全体を俯瞰する視点と専門的な知見を活かして政策、戦略を提案する役割。ホームドクターやコーディネーターとしての役割と相まって、行政に対して、総合的な都市経営や地域の課題解決に資する都市計画に関する必要な知見を提供することが期待される。

※[都市計画関連ビジネスの新たな展開に関する検討とりまとめ（H27.3 国土交通省都市局都市計画課）](#)

本日のお題：コーディネーターって（伊藤流）？

- 自分には特筆すべき専門性は無い。
 - あるとするならば地域精通度。
 - ※[日経コンストラクション2016.03.28](#) 参照
- 色々なものを掛け合わせた方が面白いものができる。
 - 色々な分野の視点を入れると実現性が高まる。
 - 他分野との連携は大事と認識。
 - ※[日経コンストラクション2016.3.14](#) 参照
- 期限を定め実現させる。
 - **With Project Management の進め。**
 - ※ここにこだわり、完成を見届けるためにも Business にしていきたい。

Project Managementとは

定義：

独自の成果物、またはサービスを創出するための期限のある活動

特徴：

- ① 明確に定義された目標
- ② 必ず開始時点と終了時点がある
- ③ 永続的でない一時的な組織が担当する
- ④ 1人のリーダーと複数のメンバーから構成される
- ⑤ 目的達成のための予算が与えられる
- ⑥ いくつかの工程から成り立つ
- ⑦ ライフサイクルの各段階で必要資源が変化する
- ⑧ 予期できない事態が発生することがある
- ⑨ 後工程ほど変更・修正の困難度が増す

Project Managementとは

成功条件：

- ① 期限内に
- ② 予算金額内で
- ③ 期待レベルの技術成果の元
- ④ 割り当て資源を有効活用して
- ⑤ 顧客が満足する状態で完了する

※Wikipedia

なんだか「まちづくり」に似てませんか？

業務を通じたコーディネート

- 01) 【全体】市街地復興パターン概略検討業務（その7）
- 02) 【全体】釜石市復興まちづくり基本方針作成支援業務
- 03) 【全体】釜石市復興まちづくり基本計画策定業務
- 04) 【事業化】市街地復興パターン詳細検討業務（その35）
- 05) 【財源確保】復興特区関連計画等作成業務
- 06) 【再エネ】釜石市環境未来都市計画作成支援業務
- 07) 【商業】東部地区新商業拠点計画策定支援業務
- 08) 【造成】復興事業測量調査設計業務（その3）
- 09) 【事業化】女川町津波復興拠点地区整備計画作成業務
- 10) 【造成】復興事業測量調査設計業務（その6）

業務を通じたコーディネート

- 11) 【商業】 釜石市東部地区再生拠点整備事業調査業務
- 12) 【造成】 釜石市桑ノ浜地区復興整備事業用地造成設計業務
- 13) 【造成】 復興事業測量調査設計業務（その4）
- 14) 【RWC】 鵜住居スポーツレクリエーション拠点整備基本計画策定業務
- 15) 【区画整理】 画地評価格算定業務（その3）
- 16) 【造成】 復興事業測量調査設計業務（その8）
- 17) 【PM・CM】 釜石市復興事業CM業務
- 18) 【造成】 復興事業測量調査設計業務（その7）
- 19) 【用地】 【災害公営】 尾崎小学校跡地用地測量業務
- 20) 【住民参加】 復興まちづくり協議会支援事業業務

業務を通じたコーディネート

- 21) 【商業】 魚河岸地区周辺にぎわい創出施設整備調査検討事業業務
- 22) 【造成】 復興事業測量調査設計業務（その10）
- 23) 【再エネ】 釜石東部地区スマートコミュニティ事業化調査業務
- 24) 【用地】 【災害公営】 尾崎白浜地区外2地区地積測量図作成業務
- 25) 【用地】 【災害公営】 尾崎白浜地区分筆に伴う資料作成業務
- 26) 【PM・CM】 釜石市復興事業CM業務（その2）
- 27) 【PM・CM】 釜石市復興事業CM業務（その3）
- 28) 【全体】 【防災】 避難誘導機器等整備基本計画策定（その2）業務
- 29) 【PM・CM】 釜石市復興事業CM業務（その4）
- 30) 【住民参加】 復興まちづくり協議会支援事業業務

業務を通じたコーディネート

- 31) 【RWC】 鵜住居地区復興広場（造成）測量調査設計業務
- 32) 【商業】 富岡町公設型商業施設整備運営可能性調査業務
- 33) 【用地】 桑ノ浜地区用地測量業務（その2）
- 34) 【造成】 釜石市桑ノ浜地区復興整備事業用地造成修正設計等業務
- 35) 【商業】 帰還支援施設（公設型商業施設）工事発注準備支援業務
- 36) 【公園】 【釜石道路】 大畑団地公園移転設計業務
- 37) 【全体】 富岡町第3の道アクションプラン策定支援業務
- 38) 【施設】 【防災】 グリーンベルト測量調査設計業務（その2）
- 39) 【商業】 魚河岸地区にぎわい創出施設調査事業業務
- 40) 【PM・CM】 釜石市復興事業CM業務（その5）

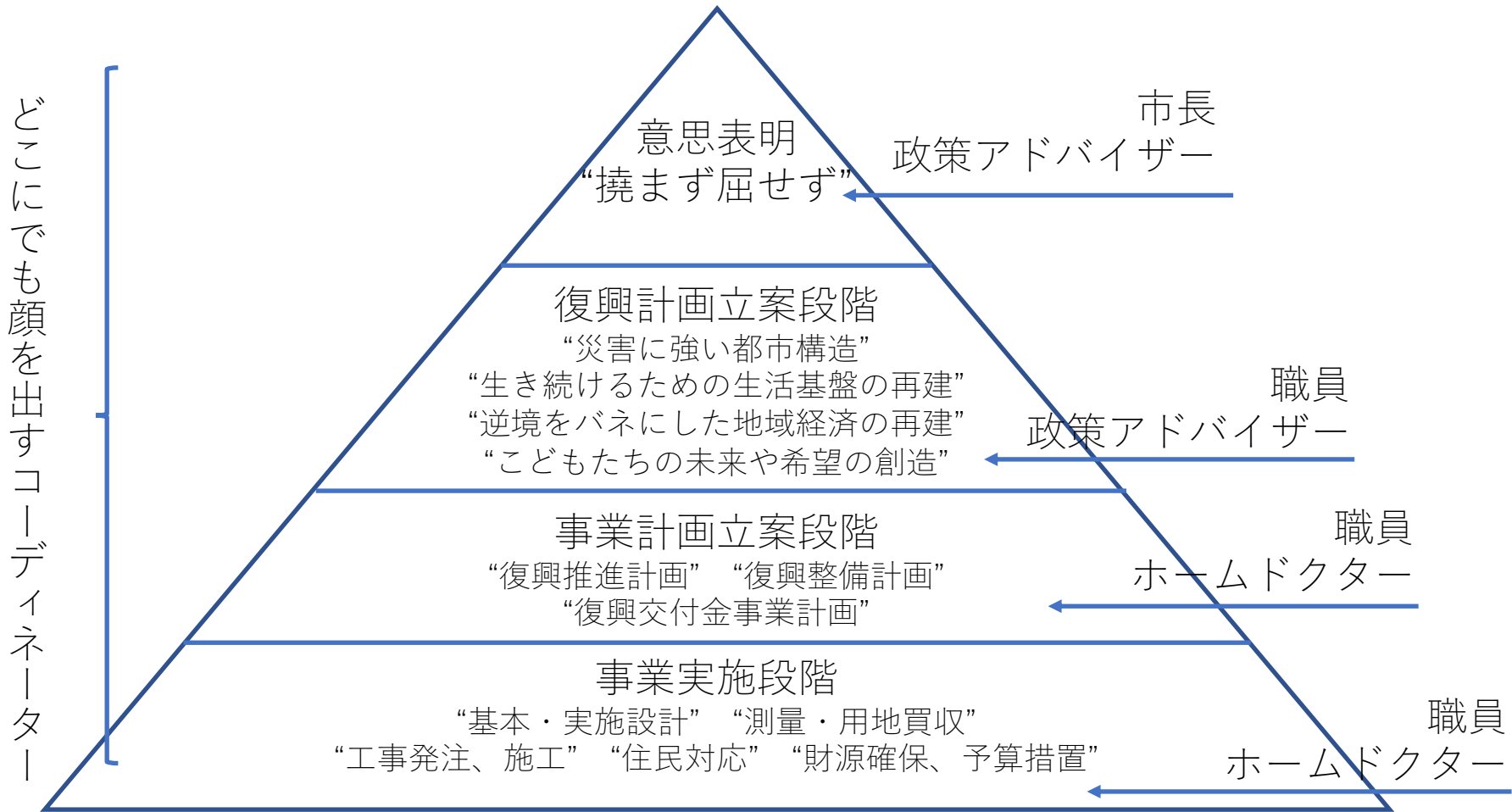
業務を通じたコーディネート

- 41) 【全体】 富岡町「人と町とのつながり」アクションプラン策定
- 42) 【全体】 浜通りの都市計画区域マスタープラン策定業務
- 43) 【造成】 【産業】 富岡町産業団地基本設計業務
- 44) 【PM・CM】 【産業】 ロボットテストフィールドCM業務
- 45) 【イベント】 富岡夏祭りコーディネート業務
- 46) 【農業】 富岡町農業AP事業化コーディネート業務
- 47) 【農業】 農林水産物再生マネジメント業務
- 48) 【造成】 【産業】 浪江町北産業団地実施設計業務
- 49) 【PM・CM】 福島ロボットテストフィールドCM業務
- 50) 【全体】 都市計画区域MP策定関連資料作成業務

業務を通じたコーディネート

- 51) 【跡地利用】 防災集団移転促進事業跡地利用検討業務
- 52) 【イベント】 とみROCK2018) コーディネート業務
- 53) 【農業】 農林水産物再生マネジメント (その2) 業務
- 54) 【農業】 富岡町地域営農再開ビジョン策定業務
- 55) 【農業】 榎葉町農林水産物再生マネジメント (その3) 業務
- 56) 【農業】 富岡町地域営農再開ビジョン策定業務
- 57) 【高齢・障がい者福祉】 富岡町共生型サポート拠点基本計画業務
- 58) 【農業】 富岡町農地マッチング図面作成業務
- 59) 【農業】 榎葉町農林水産物再生マネジメント (その4) 業務

縦のコーディネート



縦のコーディネート例

策定経緯（基本計画骨子）

- 2011.04.11 復興に向けた釜石市民へのメッセージ発表
- 2011.05.04 復興まちづくりキックオフWS
- 2011.05.12～18 復興まちづくり懇談会（第1回）
- 2011.05.26 復興まちづくり委員会（第1回）
- 2011.06.11～13 復興まちづくり集中WS・復興PJ会議（第1・2回）
- 2011.06.14～24 復興まちづくり懇談会（第2回）
- 2011.06.20 アドバイザー会議（第1回）
- 2011.06.24 復興まちづくり委員会（第2回）
- 2011.07.08 復興まちづくり委員会（第3回）
- 2011.07.11 スクラムかまいし復興プラン骨子発表

縦のコーディネート例

策定経緯（基本計画中間案）

- 2011.07.13 復興PJ会議（第3回）
- 2011.08.06～07 鶉住居・東部地区復興まちづくり懇談会
- 2011.08.01～09.06 私が考える復興プラン作文募集
- 2011.08.07 復興PJ会議（第4回）
- 2011.08.12 復興まちづくり委員会（第4回）
- 2011.08.17 アドバイザー会議（第2回）
- 2011.08.26 復興PJ会議（第5回）
- 2011.09.21 復興PJ会議（第6回）
- 2011.10.26 スクラムかまいし復興プラン中間案発表

縦のコーディネートの例

策定経緯（基本計画 + α ）

2011.12.05～19 パブリックコメント

2011.12.22 スクラムかまいし復興プラン発表

2011.12.22 環境未来都市指定

2011.12.26 東日本大震災復興特区法施行

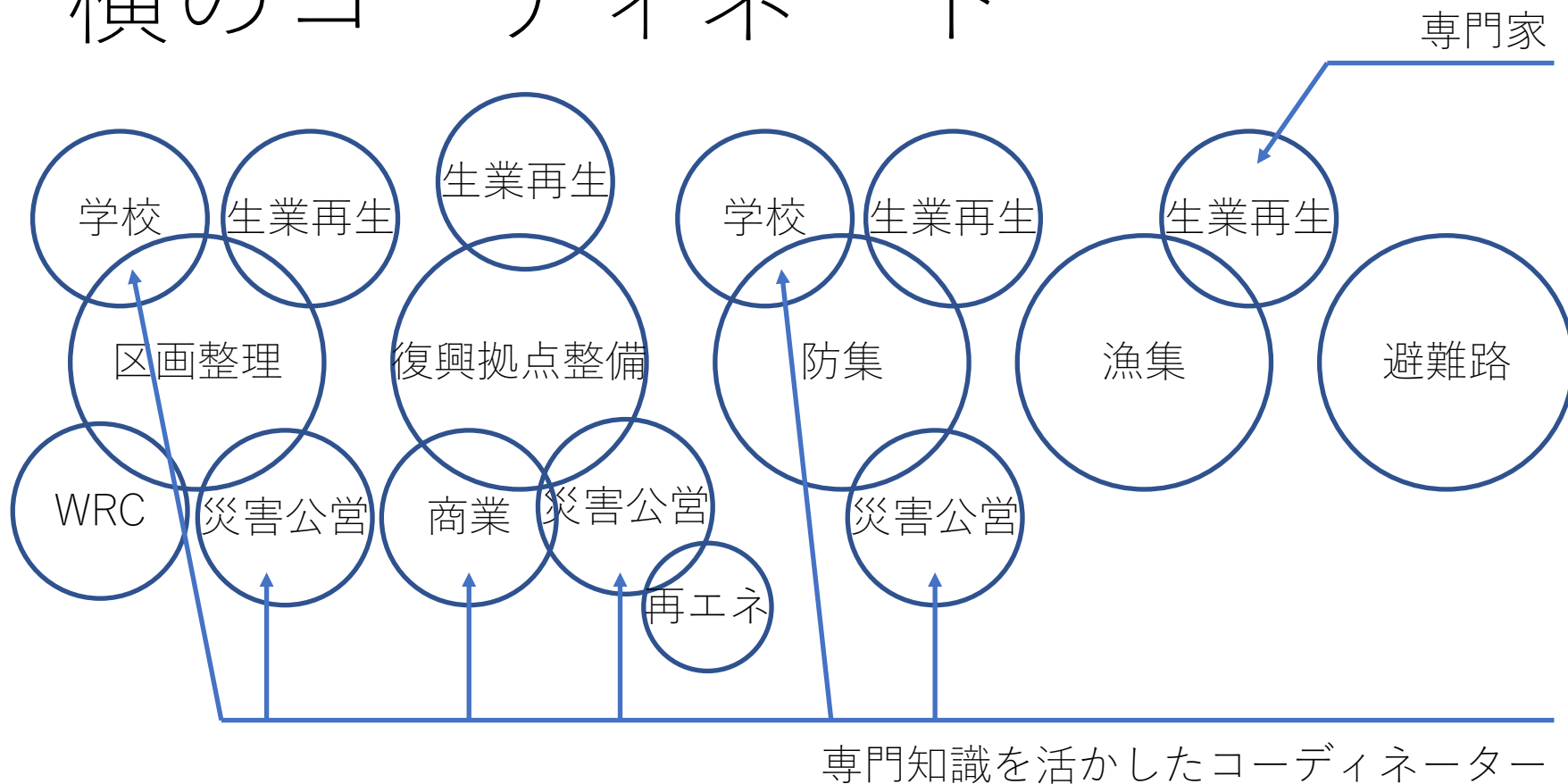
2012.07.31 復興交付金事業計画（第1回）承認

2012.08.02 復興整備計画同意

2012.08.03 復興推進計画認定

[大堀研：災害後の計画策定と住民参加とが両立する条件についての考察](#) 参照

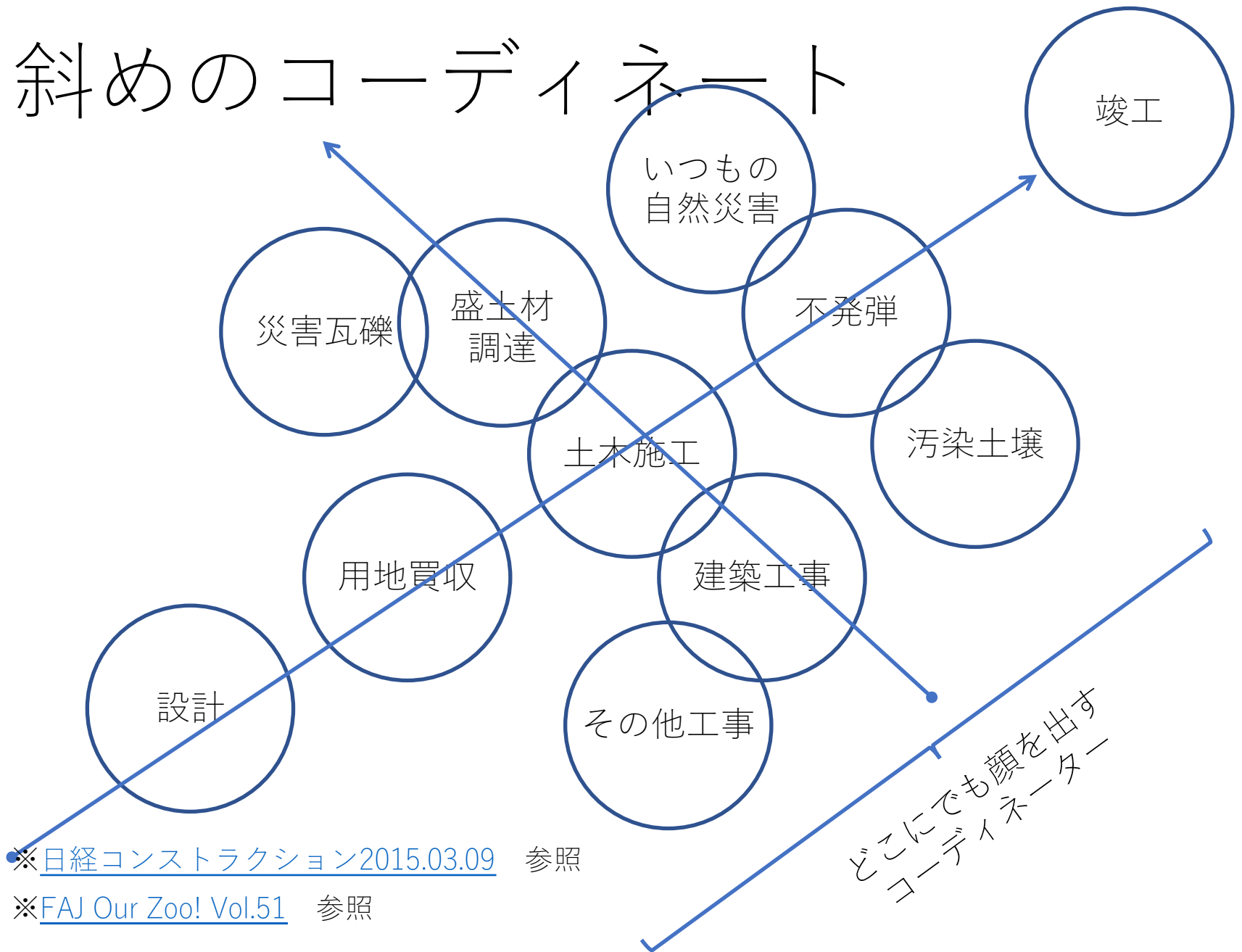
横のコーディネート



どこにでも顔を出すコーディネーター

※[日経コンストラクション2014.07.14](#) 参照

斜めのコーディネート



※[日経コンストラクション2015.03.09](#) 参照

※[FAJ Our Zoo! Vol.51](#) 参照

プロジェクトの成功

12の黄金律：

- ① 成果物について合意を得る
- ② 最良のチームを育てる
- ③ プロジェクト計画書を作り、更新を怠らない
- ④ 本当に必要な資源を判断する
- ⑤ 現実的なスケジュールを作る
- ⑥ できる以上のことはやらない
- ⑦ 常に人を大切にする
- ⑧ 経営陣やステークホルダーの支援を取り付ける
- ⑨ 変更を躊躇しない
- ⑩ 現状を周知させる
- ⑪ 新たなことに挑戦する
- ⑫ リーダーとなる

有能なプロジェクトマネージャー

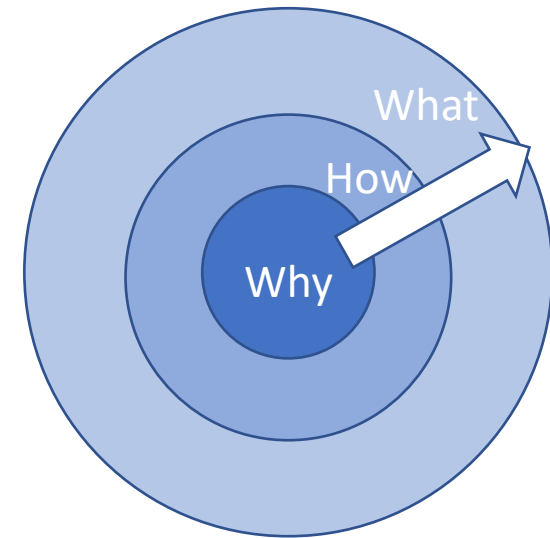
7つの資質：

- ① プロジェクトへの情熱
- ② 変更管理の能力
- ③ 曖昧さへの耐性
- ④ チーム育成と交渉のスキル
- ⑤ 顧客第一志向
- ⑥ ビジネスの優先課題の堅持
- ⑦ 業界と技術の知識

経営工学（サービスマネジメント）

- サービスの生産過程についての経営管理
 - サービスには、①形がない、②生産と消費が同時（在庫できない）、③個別化、④顧客との共同生産（顧客の役割）という4の特徴がある。
 - 復興まちづくりは、①形がない、②復興事業と生活再建が同時、個別化、被災者との共同生産???
- PM・QCDES及び4Mの計画
 - PM（略）
 - Q（品質）C（費用）D（工程）E（環境）S（安全）
 - M（人）M（設備）M（物）M（方法）の計画
 - M（人）M（物）M（金）M（方法）

その他諸々



- ゴールデンサークル理論

- PMBOKの知識領域

- ▶ 統合M、スコープM、スケジュールM、コストM、品質M、資源M、コミュニケーションM、リスクM、調達M、ステークホルダーM

- P 2 M (Project Program Management)

- ▶ プロジェクトは個別なもので固有の期間を持つ。プログラムは一定の成果を継続的に達成するために実施。
- ▶ プログラムマネジメントは、同時並行的に進められ、相互に関連するプロジェクト群を管理するプロセス。

まちづくりに「適用できる」と思いませんか？

計画を科学する →これまで

実現化を科学する →これからか？

終わりに

- 常に縦横斜めに目を配り、半歩先を予見しながら、リスクをまめに摘み取る。
- 多くのステークホルダーの話を傾聴し、常に解決策を探し続ける。
- 現場主義と応急処置を徹底し、拙速を旨に、不確実なことから手を付け、期限内に形にする。